



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1831号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 矢岸 克行 幹事 森崎 祐治



広重版画より 三島 朝霧

第1893回例会

2011.7.21晴

司 会

石井良衛君

ロータリーソング

「日も風も星も」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶

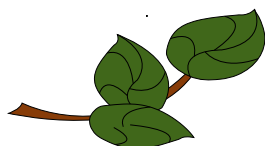
副会長 渡辺雅晃君

近頃の日本は、病気である。国家の一大事に真正面から立ち向かう政治家のいない政府、問題をどうにかすり抜けようとししか見えない電力会社の面々。

責任者たるもの堂々と問題に立ち向かい、それでも尚自身の裁量では力及ばずと判断したら一刻も早く身を引く。この精神が首長に必要なではなかろうか。

事態に敏感なマーケットは株価を下げ、少なからず経済活動をしている我々にもその影響は多大だ。与野党一丸となって早く先の見える一手を打ってほしいものです。一方で明るい話題も少なくない。女子サッカーチームのなでしこ J A P A N は強豪アメリカチームを抑え堂々の優勝をもぎ取った。また地元力士の磋牙司は幕内入りし、名を馳せている。台風6号も、被害のあった方々には気の毒ですが、幸いこの地域には殆ど影響がなかったようです。

まだまだ暑い日が続きます。会員の方々には熱中症やら冷たいものの取り過ぎやら気をつけて戴いてどうぞお身体ご自愛ください。



“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 渡辺芳久さん
(関本(文)・平野君のゲスト)
ビジター 小野篤之君
(ガバナー補佐代行・御殿場 R C)
豊山徹也君
(ガバナー補佐事務局・御殿場 R C)
青田守弘君(三島 R C)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	42/49	85.71%	44/49	89.80%
今回	47/50	94.00%	会員総数	51名

欠席者 勝間田君、花房君、(米山君)

幹事報告

幹事 森崎祐治君

- ①本日は、第2分区ガバナー補佐代行小野篤之様と事務局豊山徹也様においで頂きました。後ほどガバナー方針の伝達をしていただきます。
- ②台湾苗栗 R C 羅仕明 (HAPPY) 会長から当クラブに届いたネクタイとスカーフと共に矢岸会長宛のメッセージが届いておりますのでご披露します。(メッセージ朗読)
- ③本日は、後ほど前年度決算報告を行います。
- ④8月は会場変更が多いので例会案内を印刷してご案内いたしました。ご確認ください。

2011~2012年度
国際ロータリー会長
カルヤン・パネルジー

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

ガバナー補佐挨拶

ガバナー補佐代行 小野篤之君



積ガバナーのロータリー観について

一言でいえば、保守的な視点を保ちたいとおっしゃっています。百年をかけて育んできたロータリーの伝統に、急激な変革は望まない。高潔さを重視したい。これを言葉で表すとすれば、Nobility（高潔さ、崇高な）とObligation（責務、法律上道徳上の義務を負う）。この二つの単語からすぐ連想することは、Noblest of Oblige イギリスの貴族階級の「高貴なるもの、義務を伴う（恩義を施す）」というモラルです。ただこれをロータリアンが一般の人々にストレートに言った場合は、必ず「スカしている」「時代錯誤だ」といったいろいろなリアクションを受けることになるので、あくまでも理念として申し上げたい。

いまこそロータリーの真価が問われる時、魅力あるクラブづくり、品格あるクラブづくりに努めよう。簡素にして充実した、そして気高く美しいものを持っているなければならない。

地区目標について

R I の方針を如何に地区の目標に結び付けるかが、ガバナーの役目。中山前ガバナーは、松尾芭蕉の俳諧理念である「不易流行」を引用され、「不易」はロータリーの心、「流行」は R I の新長期計画や R 財団の「未来の夢計画」であると論じられました。これに対して積ガバナーは、変わらざるものとして R C は世界中につながる親睦と職業分類・職業奉仕・職業倫理の昂揚が「不易」に相当し、「流行」は社会奉仕・国際奉仕で、これらは流れに従い出来るだけゆっくりとなすべきものであると論じられています。

カルヤン・パネルジー R I 会長の「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」というターゲットは、世界をつなぐためにロータリーを見つめなおそう、ロータリーはクラブが基本だからとも読み取れる。クラブと地区は対等であり、運動の主体はクラブと個人であるから、インド風に強調すればファミリー・ボケーション・R C という図式になる。

* 具体的な地区目標としては

R I 人頭分担金 \$50⇒\$51/人・年

ポリオ撲滅資金 \$23で終結へ

その他は、中山年度の踏襲

* R のフューチャープラン（長期計画）への対応

三本柱の中心は R 財団・・・2013年には R 財団の仕組みが大きく変わる

クラブ研修リーダー・・・2010年の規定審議会により、クラブの3年委員として位置づけられ（任命権はクラブ会長）、継続性が求められる（手続要覧）

* 東日本大震災への対応

中山年度の義捐金・・・盛岡で開かれた最終のガバナー会で、約9億円集まった。当地区では3,384万9000円。このうち1億を被災地へ送り残り8億を公正で建設的かつ温かい支援の為に「災害遺児就学資金」に充てる。

積ガバナーは本年度の最大課題は「東日本大震災への対応」であり、被災地に寄り添う姿勢を示すことが大切である。義捐金はこれで終わりではなく「私たちは忘れている」事を示す必要がある。このため、引き続き被災地への支援金として、

・毎月の第一例会に、封筒を回すなどして1万円程度の支援金をプールする

・一堂に会しての懇親会は遠慮する「軽減する」

等の工夫でロータリーの底力を結集し、復興支援に注力すべきと確信している。

* 会員増強・維持

地区は4,000人台から3,100人に減少した。凋落傾向は改善されていない。R I は2003年からの7年間に、クラブ数は増加したものの会員数はかなり減ったというデータがある。

R I 会員増強目標は、毎年各クラブは5月1日までにガバナーエレクトに、ガバナーエレクト5月15日までに地区の会員増強目標を提出することになっている。本年も「各クラブ純増1名以上」となっている。会員増強の方策に王道はなく、一步一步着実に取り組んでいただくほかない

因みに世界の会員数は、以下の通り。

アメリカ	360.000人	インド	110.000人
日本	89.000人	韓国	61.000人
ブラジル	52.000人	ドイツ	49.000人
合計	1.228.000人		

（4カ国で50%以上、15カ国で総会員の80%以上を占める）

* G S E（研究グループ交換）

本年の相手地区はオランダであるが、受け入れについて第2分区は除外されている。

派遣については募集中（三島・山岡リーダー）

* ポリオプラスと2億ドルチャレンジ

1985年から取り組んでいるが、発症事例も4カ国となり、あと一息の状況。

これまでに100万人のロータリアンが21億人の子供たちにワクチンを投与した。

ビル・ゲイツ財団から2億5500万ドルのポリオ寄付を受けて、Rも2億ドルを集めようとはじめられた活動。当地区における本年の目標は7万ドルです。

クラブ協議会

ロータリー情報委員会 委員長 平野晴生君

この委員会は会員がロータリーをよく理解して、ロータリーの知識も深めていただくように援助することが役割で、特に新会員がロータリーを充分理解できるように援助することが重要な任務です。

つきましては、新会員の入会後に推薦者を交えて勉強会と懇親会を開催いたします（できたら今年度2回）。また必要に応じて会員の皆さんにロータリー情報の伝達もしたいと思っています。

1月のロータリー理解推進月間にはクラブフォーラムもプログラムで計画されています。それから2010年のR I 規定審議会に基づく規定集を作成して皆さんに配布したいと思います。



職業奉仕委員会 委員長 原 久一君

基本方針

1. 職業奉仕は、四大奉仕の一つでありロータリー活動の根幹に値するものであるのでロータリアン自らが「職業奉仕理念」を適用し実践的な活動の推進を図ります。
2. 新たな産業や職業に広い見識と理解を示してまいります。

活動計画

1. 会員相互の親睦を図り、会員の職業に対する理解を深める。
2. 会員相互において「職業奉仕理念」について学ぶ。
3. 工場見学の実施。

社会奉仕委員会 委員長 鈴木郁夫君

委員長：鈴木郁夫 副委員長：鈴木正二

委員：遠藤真道 古川喜仁 橋本裕子 石川直樹

以上のメンバーで活動します。1年間よろしく願いいたします。

<基本方針>

人間尊重、地域発展、環境保全、共同奉仕の精神にのっとり地域社会に住む人々の生活の質を高め、公共に奉仕する。

<活動計画>

① 赤十字献血活動への協力

本年度は日赤沼津支部より依頼状もいただき、すでに日程が決まっている。

8月27日（土）日清プラザ（イトーヨーカ堂）

10時から12時 13時15分から16時

※当日参加できる会員の皆様のご協力をお願いいたします。

② 見晴フェスティバルへの参加

本年度は10月2日（日）

会員の皆様のご意見を聞きながら見晴学園と打ち合わせを行う予定。

会員、ミセス会の皆様にご協力をお願いすることになるとは思いますがよろしく願いいたします。

③ 苗栗の苑（箱根の里）の整備

植樹に関しては、現在箱根の里で整備している。

実際に現地に行き、状態を確認する予定。

また可能ならば、現地で例会を行い、苗栗の苑の植樹にいたるいきさつについて講話などを行い、苗栗RCとの親善交流への理解を深める機会を作ること検討したい。

④ 地域における奉仕の機会を調査し、ニーズを検討する

これはまだ検討事項ですが、認知症の啓発劇を例会で行うことなどを考えています。

高齢者の数が増えるにつれて、認知症になる方も増える。ただ一般の人の認知症に対する知識、理解は十分ではない。認知症への知識、理解を深め、地域で認知症の方とその家族を支えるために啓発劇を行っているグループがある。そのグループを招き認知症とはどのようなものであるか知る機会を作りたい。

また活動計画の中には入っていませんが、富士山緑化運動について、関係部署との連絡を図りながら、現状報告などを行うことを予定しています。

国際奉仕委員会

委員長 矢野敏夫君

〈基本方針〉

国際奉仕は、他国の人々とその文化や習慣、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために会員が行なう活動からなるものです。

ロータリークラブの綱領に掲げられている国際奉仕の一つとして、我がクラブは長年にわたり台湾苗栗RC・苗栗東南RCとの交流を続けています。

今年度も交流事業の中核である中学生交換研修事業を継続実施し、相互の国際理解を深める。

特に今年度は当クラブ設立40周年記念事業としての受け入れ等を積極的に進める。

〈活動計画〉

1. 苗栗RC及び苗栗東南RCとの友好親善交流。
2. 交換研修中学生の受け入れ。
3. 西田東RC(友好クラブ)交流の検討。
4. 苗栗RCより公式訪問受け入れ・交流。
5. 会員に個人レベルで実施できる国際間の理解と親善を働きかける。

ロータリー財団米山委員会

委員長 瀬川幸信君

ロータリー財団委員会

〈基本方針〉

ロータリー財団は、国際ロータリーの慈善部門で、ロータリアンと支援者による自発的な寄付だけで支えられているので、財団への理解促進につとめる。

〈活動目標〉

- ①ベネファクター(恒久基金寄付) 1名以上
- ②年次寄付地区目標 US 100ドル / 人・年
- ③ポリオ撲滅資金への寄付 US 23ドル / 人・年

米山委員会

〈基本方針〉

米山梅吉翁の「奉仕の精神」を継承し、併せてと米山奨学事業への理解促進につとめる。

〈活動目標〉

- ①米山奨学事業への寄付促進 ￥12,000 / 人・年
- ②米山梅吉記念館への賛助金のお願い
- ③米山梅吉記念館運営への参画(記念館活用)

40周年準備委員会

委員長 関本照文君

40周年準備委員会の委員長として責任の重さを実感しております。皆様とともに記念すべき40周年を作り上げたいと思いますので、何卒ご協力の程お願い致します。

〈基本方針〉

初代会長大場朋世氏が掲げた三つの柱

- ①みんなで例会に出席しよう
- ②ユーモアのある例会にしよう
- ③派閥をなくし親睦を深めよう

をモットーに歴代会長が今日迄継承しながら親睦を中心として築き上げた40年であったと思います。その精神を大切にして「会員家族が楽しめる40周年」というテーマを掲げ基本方針と致したいと思います。

〈活動計画〉

組織表の確定

合同会議及び各委員会の実施・・・式典の開催計画の確定・記念事業の確定。

スマイルボックス

◆窪田君、今期、1回目と2回目の例会を欠席してしまいましたでした。岐阜と秋田への買い付けでした。岐阜ではメーキャップできてよかったです。栗原さんには迷惑をかけず良かったです。

◆遠藤(武)君、同好会遠征では大変お世話になりました。いつも足手まといですみません。今後ともよろしくお願いします。

◆関本(文)君、同好会遠征に参加された皆様、お疲れ様でした。楽しい思い出に残る旅行をさせて頂きありがとうございました。

◆ゴルフ同好会、矢野年度最後の取りきり戦を、7月16日(土)に岡山県の岡山カントリークラブ桃の里コースにて行いました。優勝伊丹さん・準優勝佐野さん・3位矢岸さんでした。

◆ゴルフ同好会、矢岸年度第1回目を山口県の厚狭ゴルフクラブにて行いました。優勝は1アンダーで回った黒田さん・準優勝前田さん・3位小林さんでした。次回は9月11日(日)芦ノ湖カントリークラブにて行います。



(週報担当：佐々木雅浩)